

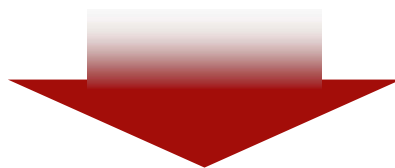
## 日立Grの環境CSRに対する取り組み - 製品含有化学物質管理 -

株式会社 日立製作所 IT戦略室

# 1 「環境CSR対応モノづくり」の推進

## 課題

- 1 欧州を起点とする世界規模での製品環境関連規制への対応
- 2 日立グループとしての製品含有化学物質管理・運用の具体化



## 推進施策

- 1 「環境CSR対応モノづくり」の日立グループ共通ルール化
- 2 「製品含有化学物質管理」のための仕掛けづくり

# 2 「環境CSR対応モノづくり」共通ルール化

## 「環境CSR対応モノづくり規程」

- ・モノ(製品)のライフサイクル全体に適用
- ・各プロセス(企画・設計・調達・製造・使用・リサイクル・流通)での責務と環境配慮ポイントを明確化

### 化学物質に関する規則を制定

#### 「環境CSR対応化学物質規則」

- ・調達品に含有する化学物質の特定
- ・使用禁止化学物質を含むモノは出荷しない

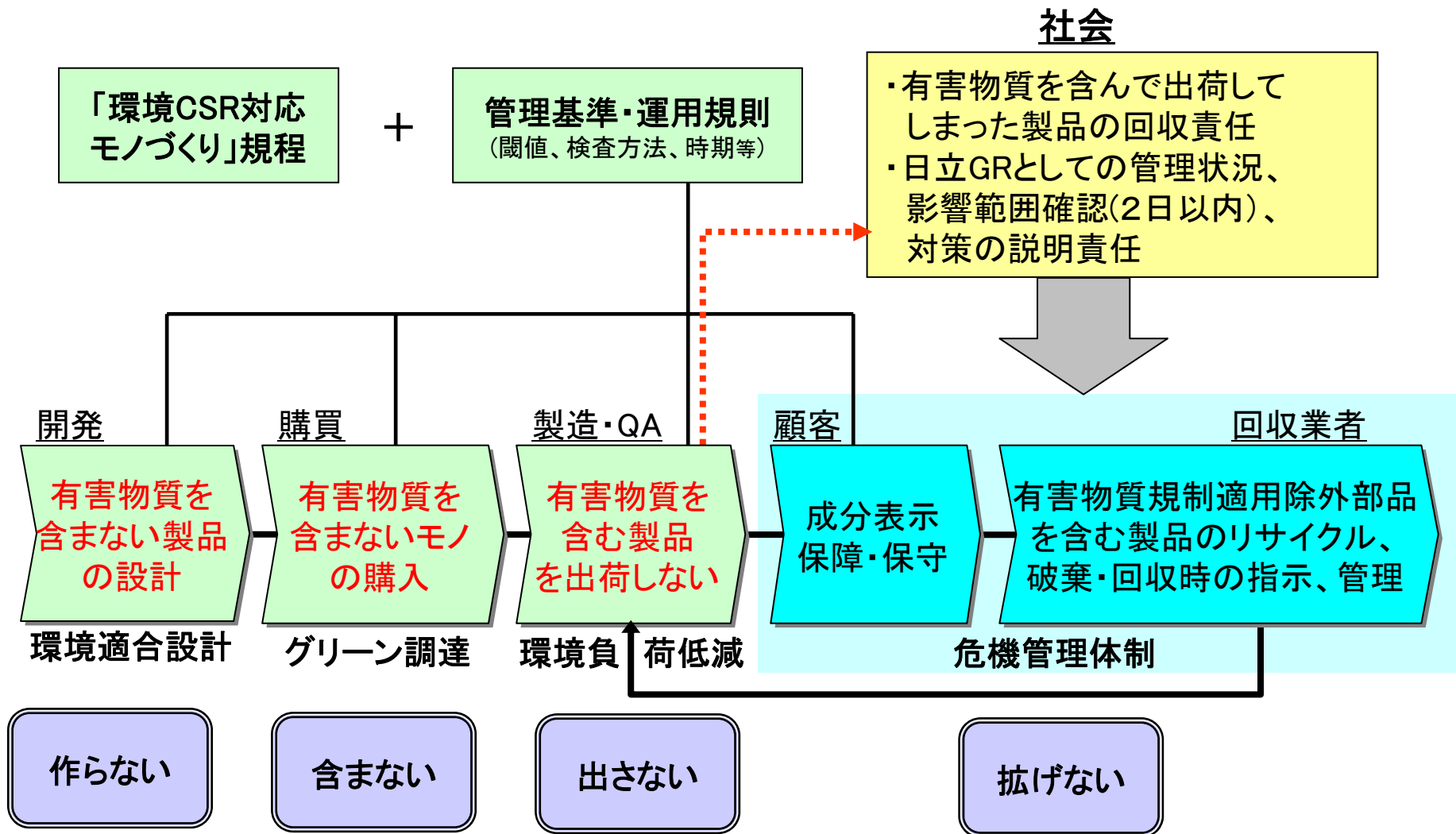
#### 「製品の含有化学物質管理規準」

- ・禁止物質の指定: 13物質群(鉛・カドミウム等)
- ・管理物質の指定: 12物質群(アンチモン・ヒ素等)

製品含有化学物質  
一元管理システム  
の導入

# 3

## 「製品含有化学物質管理」の仕掛けづくり



# 4 「製品含有化学物質管理」の施策・内容

## ■「製品含有化学物質管理」の施策と内容

施策	[環境適合設計] 有害化学物質を 含まない製品の 設計	[グリーン調達] 有害化学物質を 含まない材料・ 部品の購入	[環境負荷低減] 有害化学物質を 含む製品を 出荷しない	[危機管理体制] 万一、出荷時の影響 範囲を最少にする
内容	①製品含有 化学物質の 分量計算、 設計値把握	②製品構成部品 &副資材の 成分情報把握	③入荷および出荷の 含有化学物質の 総量把握(低減)	④個体管理(個体 トレース)の仕組み 構築(24h以内)

## 必要な機能

## 製品含有化学物質情報の一元管理

## 機能①

使用材料・部品の成分情報の管理

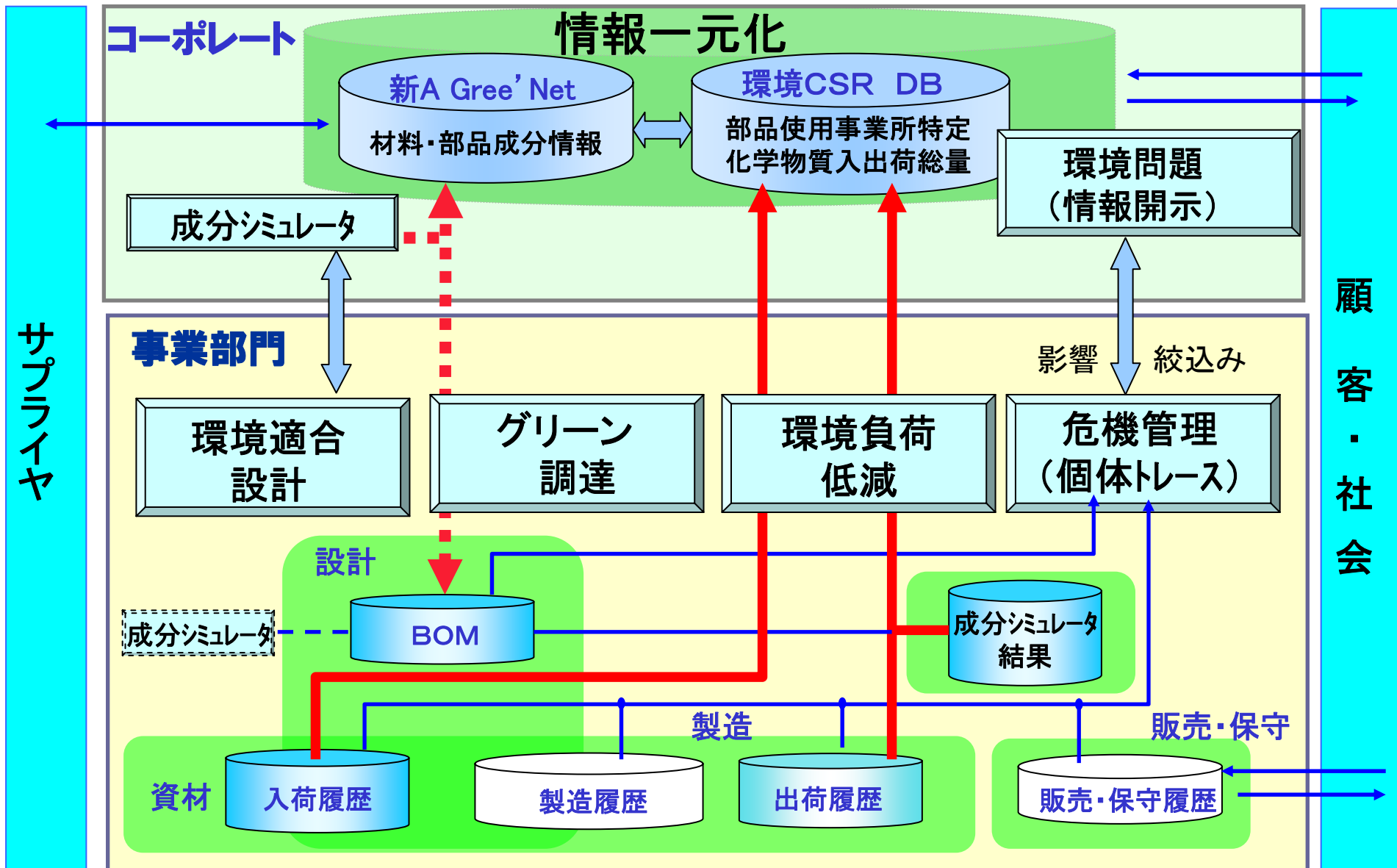
## 機能②

材料・部品の購買情報の統合管理

## 機能③

製品個体のトレーサビリティの確立

# 6 「環境CSR対応モノづくり」システム



# 7 モノづくり形態別のシステム構成

構成パターン	必要な機能  【A1-2:共通】 A3-5:強化	要素となるシステム(テンプレート)								モノづくり形態			
		環境適合設計			グリーン調達 環境負荷低減			個体 トランス		組立	部品	素材	商社・物流
		部品利用情報DB	環境BOM	成分シミュレータ	新AGN	事業部I/F	環境CSR/DB	製造履歴(MES)	追跡BOM				
1	グリーン調達 入荷物質量把握	-	-	-	■	■	■	△	-	■	■	■	■
2	成分シミュレータ評価 出荷物質量把握	-	-	■	■	■	■	△	-				
3	環境適合設計 BOM・シミュレータ連動	-	●	-	■	■	■	△	-				
4	製造履歴	-	-	■	■	■	■	●	-				
5	個体管理・PLM	●	●	-	■	■	■	●	●				

凡例 ■ :コーポシステム利用    △ :既存システム改善利用    ● :機能強化



# 8

## システム展開スケジュール

区分	モノづくり形態	STEP-1	STEP-2	STEP-3	STEP-4	STEP-5
RoHS対象 ・事業部門 ・Gr会社 〔1次会社 2次会社〕	【モデル】	仕組み構築	モデルの横串展開			2006/07 RoHS 指令施行
	【組立】	仕組み構築 ・事業部門 ・1次会社	2次会社展開			
	【部品】	仕組み構築 ・事業部門 ・1次会社	2次会社展開			
	【素材】【商社・物流】	仕組み構築 ・1次会社 ・2次会社				
RoHS対象外 ・事業部門 ・Gr会社			仕組み構築 ・事業部門 ・1次会社 ・2次会社			